

明るい子 かしこい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

令和4年度 夏休み号

蕨市中央6-8-25

Tel. 442-2672

児童数	(名)
男子	204
女子	173
計	377

夏の思い出～海の違いに驚き！体験が学習を補完する～

校長 原田 卓治

いよいよ明日から夏休みとなります。

元気がある子供たちと約1か月間、しばしのお別れとなり、子供たちの元気な声、輝く笑顔に会えないのは、寂しい限りです。ご家庭が中心となりますが、是非、有意義な長期休業となるよう願っています。

さて、私ごとですが、私は小学校4年生の2学期迄、北九州市に住んでいました。夏となると、周防灘に面した海水浴場に、今は亡き両親に毎年連れて行ってもらいました。

周防灘の海は、とても穏やかで、泳ぎやすいのですが、最大の懸念材料は「クラゲ」です。おびただしい量のクラゲがそこかしこに泳いでいるのですが、まあそれに刺されると痛いなの。30分も泳いでいると、全身がクラゲに刺された痕で真っ赤に腫れあがるのです。けれども、一番近い海水浴場はそこなので、それでも楽しんで泳いでいました。(今ではとても怖くて泳げません。)

その後、4年生の3学期に父の転勤で、茨城県神栖市波崎町という所に引っ越しました。夏になると、今度は鹿島灘に面した海水浴場で泳ぐことになりました。

私は、海は周防灘しか知りませんから、海はどこでも同じだと思っていいましたが、大間違い。鹿島灘は波が荒い上に潮の引きがすさまじく強いので、海中で立っていることができないことに、まず驚きました。その上、潮の流れが速く、潮目を知らないと一気に沖まで持っていかれます。ですから、地元の友達や大人に案内してもらわないと、危険なのです。しかし、「クラゲ」は全くいません。その後、十数年そこで泳いでいましたが、一度も「クラゲ」にはお目にかかりませんでした。そして、鹿島灘では自然の「はまぐり」が沢山とれます。子供でも、大潮になると1時間以内にバケツ半分から一杯程度は採れました。泳いだり、潮干狩りをしたり、本当に楽しい思い出でした。

自然は所変われば、全く異なる様相を見せます。同じ海でも、地域によって、どの特性が大きく異なるので、遊び方(泳ぐ際の留意点を含めて)も異なることが身をもってわかりました。そして、どの違いがどこからくるのかということ、地理や理科等の学習を通し、納得してわかるようになっていったのです。

安全を確保しつつ、机上の学問だけではうなずけない、日常では味わうことのできない体験ができるといいですね。